

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】 第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】 平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公開番号】 特開 2006-23605 (P2006-23605A)  
 【公開日】 平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)  
 【年通号数】 公開・登録公報 2006-004  
 【出願番号】 特願 2004-202738 (P2004-202738)  
 【国際特許分類】

**G 0 9 G 5/36 (2006.01)**

**G 0 9 G 3/20 (2006.01)**

**G 0 9 G 3/36 (2006.01)**

【F I】

G 0 9 G 5/36 5 2 0 P

G 0 9 G 3/20 6 1 2 U

G 0 9 G 3/20 6 3 2 F

G 0 9 G 3/20 6 6 0 C

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 5/36 5 2 0 G

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 6 月 15 日 (2007.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の表示領域を有する表示媒体と、  
 前記第 1 の表示領域よりも大きいサイズの描画領域を持つ画像データを取得する画像データ取得部と、  
 仮想的な第 2 の表示領域を、前記描画領域と略同じサイズで生成する仮想表示領域生成部と、  
 前記画像データを、前記第 2 の表示領域に展開する画像データ展開部と、  
 前記第 2 の表示領域に展開された前記画像データの中から、前記表示媒体で表示する画像を前記第 1 の表示領域に応じて規定する画像規定部と、  
 前記規定された画像を前記表示媒体に表示する画像表示部とを備えることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の画像表示装置において、  
 前記画像規定部は、前記第 1 の表示領域の中心位置と、前記第 2 の表示領域の中心位置とが略合致するように規定することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 乃至 2 のいずれかに記載の画像表示装置において、  
 前記表示媒体は、前記画像表示装置が有する少なくとも 1 つの面に配置され、  
 前記画像規定部は、前記面の一端と、前記第 2 の表示領域の一端とが略合致するように規定することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像表示装置において、

前記画像データは、情報を出力する出力装置のデバイスドライバにより生成され、当該出力装置で出力可能なデータであることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像表示装置において、  
取得した文字や図形が含まれる画像データを、情報を出力する出力装置で出力可能なデータに変換するデータ変換手段を備えることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の画像表示装置において、  
前記画像データを第 1 の表示領域に縮小して表示する画像縮小部を備えることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の画像表示装置において、  
前記表示媒体に表示する前記画像の大きさ、または前記画像の表示位置の少なくとも一つを選択する表示選択部を備えることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 8】

第 1 の表示領域を有する表示媒体に画像を表示する画像表示方法であって、  
前記画像のデータを入力する工程と、  
前記第 1 の表示領域に関する情報および前記画像のデータから、前記第 1 の表示領域よりも大きいサイズの描画領域を持つ出力データを生成する工程と、  
仮想的な第 2 の表示領域を、前記描画領域と略同じサイズで生成する工程と、  
前記出力データを、前記第 2 の表示領域に展開する工程と、  
第 1 の表示領域の所定の位置および第 2 の表示領域の所定の位置が略一致するように、前記展開された出力データの中から、前記表示媒体の表示領域の大きさに、表示する画像を規定する工程と、  
規定した前記データを前記表示媒体に表示する工程とを備えることを特徴とする画像表示方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の画像表示装置では、前記画像規定部は、前記第 1 の表示領域の中心位置と、前記第 2 の表示領域の中心位置とが略合致するように規定する場合と、前記表示媒体は、前記画像表示装置が有する少なくとも 1 つの面に配置され、前記画像規定部は、前記面の一端と、前記第 2 の表示領域の一端とが略合致するように規定する場合とが考えられる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、前記表示媒体が、前記画像表示装置が有する少なくとも 1 つの面に配置され、前記画像規定部が、前記面の一端と、前記第 2 の表示領域の一端とが略合致するように規定する場合は、印刷したイメージの左上端部が合致したイメージを画像表示装置に表示できる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の画像表示装置では、前記画像表示装置は、取得した文字や図形を含む画像データを、出力データに変換するデータ変換手段を備えることが好ましい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明の画像表示装置では、前記画像表示装置は、前記画像データを第1の表示領域に縮小して表示する画像縮小部を備えることが好ましい。また、前記表示媒体に表示する前記画像の大きさ、または前記画像の表示位置の少なくとも一つを選択する表示選択部を備えることが好ましい。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記した課題を解決するために、本発明の画像表示方法は、第1の表示領域を有する表示媒体に画像を表示する画像表示方法であって、前記画像のデータを入力する工程と、前記第1の表示領域に関する情報および前記画像のデータから、前記第1の表示領域よりも大きいサイズの描画領域を持つ出力データを生成する工程と、仮想的な第2の表示領域を、前記描画領域と略同じサイズで生成する工程と、前記出力データを、前記第2の表示領域に展開する工程と、第1の表示領域の所定の位置および第2の表示領域の所定の位置が略一致するように、前記展開された出力データの中から、前記表示媒体の表示領域の大きさと、表示する画像を規定する工程と、規定した前記データを前記表示媒体に表示する工程とを備えることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

上記方法によれば、〔0005〕段落に記載の画像表示装置と同等の効果が得られる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

CPU110は、ROM111に格納されているプログラムを必要に応じて読み出し、当該読み出したプログラムをRAM112に展開して記憶する。そしてCPU110は、RAM112に展開されているプログラムを、必要に応じて読み出し実行することにより、電子携帯端末100の各ハードウェア資源を制御するように構成されている。

ディスプレイコントローラ114は、CPU110からの指示に従って、VRAM115に格納されたデータを、液晶表示体80で表示させる。

フラッシュメモリ113は、CPU110からの指示に従って、データを一時的に記憶する。

通信インターフェイス１１８は、ホストコンピュータ２００と接続してデータを授受するインターフェイスであり、例えば、ＵＳＢ（Universal Serial Bus）を採用できる。

メディアドライブ１１６は、記録メディア９０の情報の読み出し、書き込みを行う装置であり、記録メディア９０としては、例えばコンパクトフラッシュ（米国SanDisk社の登録商標）などを採用できる。